

戸建住宅環境計画書受付番号

21201

建築物名称	宮前区宮崎6丁目計画
建築物の所在地	川崎市宮前区宮崎6丁目
設計者氏名、建築士事務所名	鈴木 孝典 大和ハウス工業株式会社横浜支社住宅一級建築士事務所
工事種別	新築
床面積の合計	184.81m ²
用途	戸建住宅
構造	鉄骨造
階数	地上2階
工事完了年月	令和4年3月

CASBEE[®]-戸建(新築)

評価結果

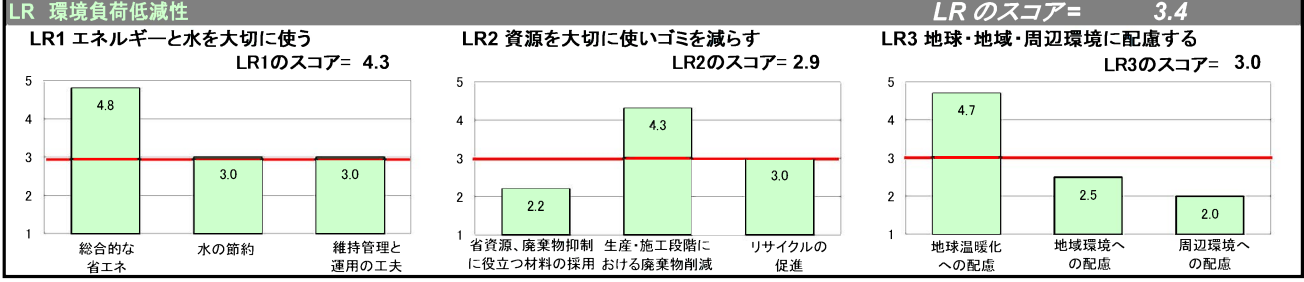
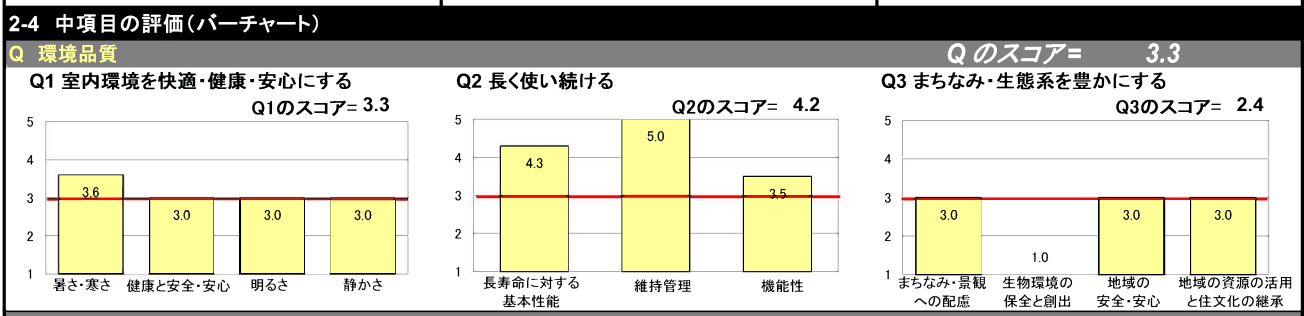
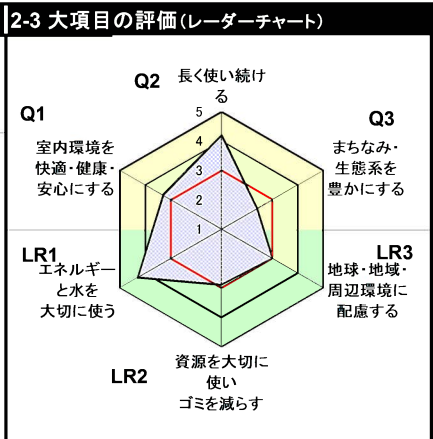
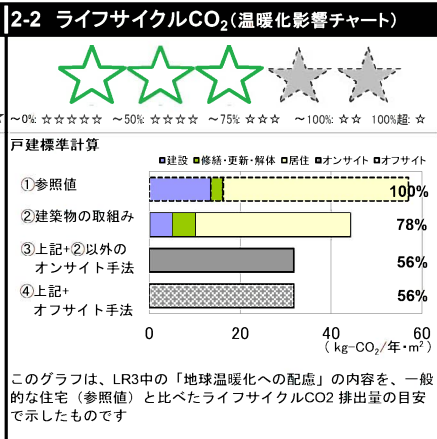
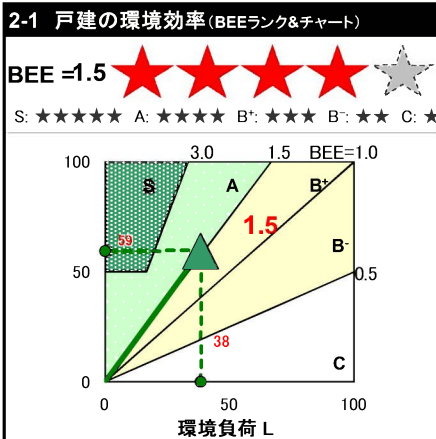
■使用評価マニュアル:

CASBEE-戸建(新築) 2018年版

■使用評価ソフト:

CASBEE-DH_NC 2018v1.0

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	宮前区宮崎6丁目計画	仕様等の確定状況	建物の仕様	確定	外観パース等 図を貼り付けるときは シートの保護を解除してください
竣工年月	2022年3月	竣工	持ち込み家電等	仮	
建設地	川崎市宮前区宮崎6丁目	<備考>	外構の仕様	仮	
用途地域	第一種低層住宅専用地域		確定		
省エネルギー地域区分	6地域				
構造・構法	軽量鉄骨造	確定			
階数	2	確定			
敷地面積	218 m ²	確定	評価の実施日	2021年8月25日	
建築面積	94 m ²	確定	作成者	佐々木 喜則	
延床面積	185 m ²	確定	確認日	2021年8月25日	
世帯人数	5	確定	確認者	宮林 清和	



3 設計上の配慮事項

<p>総合</p> <p>超長期にわたって世代から世代へと住み継がれていく、資産価値の変わらない長寿命住宅。家族構成や住まい方の『緩やかで大きな変化』に対して、生活の質を維持したまま対応している住宅の耐久性、高齢者居住や3世代同居への配慮など柔軟なプランニングを有したいつまでも愛着を持って住み継いでいける、可変性のある住宅である。</p>	<p>その他</p>
<p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <p>次世代省エネ基準を超える断熱性能、通風への配慮、適切なエアコンの設置、化学汚染物質対策、防犯への配慮設計によって、快適・健康・安心な室内環境を実現している。</p>	<p>Q2 長く使い続ける</p> <p>構造躯体に高い耐久性・耐震性を持たせ、給排水設備の点検・清掃性に配慮し、企業としての保守点検体制を充実させることで長期間の維持管理に対応している。また、余裕のある広さと間取りを確保することで機能面においても、次の世代まで住み続けられる家を目指した。</p>
<p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <p>建物については高断熱化で、設備についてはエネファームの採用により省エネルギーを実現した。キッチン水栓、浴室シャワー水栓を節水機能付き、節水型便器を採用することで水を大切に使う配慮をしている。</p>	<p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <p>屋根下地材や床下地材は、再生可能材料やリサイクル材が使えるものを採用することで、省資源・廃棄物抑制に配慮した。部材生産、施工の各段階での廃棄物削減を推進した。</p>
	<p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p> <p>居住(生活)時の一次エネルギー消費量削減を考慮して、省エネ性の高い設備を設置している。加えて 再生エネルギー(太陽光)を設置し、地球温暖化に配慮した住宅としている。(BEI=0.73)</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

スコアシート				
配慮項目	具体的な取組み一覧	評価点	重み係数	全体
Q_H すまいの環境品質				3.3
Q_{H1} 室内環境を快適・健康・安心にする			0.45	3.3
1 暑さ・寒さ		3.6	0.50	3.6
1.1 基本性能		4.2	0.50	
1.1.1 断熱等性能の確保	外皮平均熱貫流率 UA値=0.57(≤0.58)	5.0	0.80	
1.1.2 日射の調整機能	—	1.0	0.20	
1.2 夏の暑さを防ぐ		3.0	0.25	
1.2.1 風を取り込み、熱気を逃がす	主要居室に、二方向開口または通風・排熱をしている。	3.0	0.50	
1.2.2 適切な冷房計画	規模に応じたエアコン選定と、設置可能な電気計画をしている。	3.0	0.50	
1.3 冬の寒さを防ぐ		3.0	0.25	
1.3.1 適切な暖房計画	規模に応じたエアコン選定と、設置可能な電気計画をしている。	3.0	1.00	
2 健康と安全・安心		3.0	0.30	3.0
2.1 化学汚染物質の対策	F☆☆☆☆建材の使用としている。	5.0	0.25	
2.2 適切な換気計画	台所、便所、浴室の局所換気が計画されている。	3.0	0.25	
2.3 犯罪に備える	—	1.0	0.25	
2.4 災害に備える	—	3.0	0.25	
3 明るさ		3.0	0.10	3.0
3.1 昼光の利用	—	3.0	1.00	
4 静かさ		3.0	0.10	3.0
4 静かさ	等級1仕様である。	3.0	0.10	
Q_{H2} 長く使い続ける		—	0.30	4.2
1 長寿命に対する基本性能		4.3	0.50	4.3
1.1 躯体	日本住宅性能表示基準、劣化対策等級3	5.0	0.30	
1.2 外壁材	窯業系サイディング+セラミックコート+光触媒コート	3.0	0.10	
1.3 屋根材、陸屋根	一般地域で耐用年数30年、補修目安30年目、それ以降は15年毎	3.0	0.10	
1.4 自然災害に耐える	日本住宅性能表示基準、耐震等級3(構造躯体の倒壊等防止)	5.0	0.30	
1.5 火災に備える		3.7	0.20	
1.5.1 火災に耐える構造	日本住宅性能表示基準、耐火等級2(延焼の恐れのある部分(開口部以外))	3.0	0.65	
1.5.2 火災の早期感知	日本住宅性能表示基準、感知警報装置設置等級3(自住戸火災時)	5.0	0.35	
2 維持管理		5.0	0.25	5.0
2.1 維持管理のしやすさ	—	5.0	0.65	
2.2 維持管理の計画・体制	すまいの手引き書等をお渡ししている。	5.0	0.35	
3 機能性		3.5	0.25	3.5
3.1 広さと間取り	各居室にクローゼット設置、階段下収納設置	5.0	0.50	
3.2 バリアフリー対応	日本住宅性能表示基準、高齢者等配慮対策等級1(専用部分)	2.0	0.50	
Q_{H3} まちなみ・生態系を豊かにする		—	0.25	2.4
1 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.30	3.0
1 まちなみ・景観への配慮	突出することなく、法に則った配置計画	3.0	0.30	
2 生物環境の創出		1.0	0.30	1.0
2.1 敷地内の緑化	—	1.0	0.65	
2.2 生物の生息環境の確保	—	1.0	0.35	
3 地域の安全・安心		3.0	0.20	3.0
3 地域の安全・安心	—	3.0	0.20	
4 地域の資源の活用と住文化の継承		3.0	0.20	3.0
4 地域の資源の活用と住文化の継承	—	3.0	0.20	

LR _H	すまいの環境負荷低減性		-	-	3.4
LR _{H1}	エネルギーと水を大切に使う		-	0.35	4.3
	1 総合的な省エネ		4.8	0.75	4.8
	1.1 躯体と設備による省エネ	-	5.0	0.90	
	1.2 家電・厨房機器による省エネ	IHクッキングヒーター(2口IH+1ロラジエント)	3.0	0.10	
	2 水の節約		3.0	0.15	3.0
	2.1 節水型設備	食器用洗浄機	3.0	0.75	
	2.2 雨水の利用	-	3.0	0.25	
	3 維持管理と運用の工夫		3.0	0.10	3.0
	3.1 住まい方の提示	すまいの手引き書等をお渡ししている。	3.0	0.50	
	3.2 エネルギーの管理と制御	-	3.0	0.50	
LR _{H2}	資源を大切に使いゴミを減らす		-	0.35	2.9
	1 省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用		2.2	0.60	2.2
	1.1 構造躯体		3.0	0.30	
	1	木質系住宅	-	3.0	-
	2	鉄骨系住宅	-	3.0	1.00
	3	コンクリート系住宅	-	3.0	-
	1.2 地盤補強材・地業・基礎	-	3.0	0.20	
	1.3 外装材	-	1.0	0.20	
	1.4 内装材	-	1.0	0.20	
	1.5 外構材	-	3.0	0.10	
	2 生産・施工段階における廃棄物削減		4.3	0.30	4.3
	2.1 生産段階(構造躯体用部材)	ISO14001 認証取得工場で作製	5.0	0.33	
	2.2 生産段階(構造躯体用以外の部材)	-	3.0	0.33	
	2.3 施工段階	部材の工場生産により現場加工の削減	5.0	0.33	
	3 リサイクルの促進		3.0	0.10	3.0
	3.1 使用材料の情報提供	-	3.0	1.00	
LR _{H3}	地球・地域・周辺環境に配慮する		-	0.30	3.0
	1 地球温暖化への配慮		4.7	0.33	4.7
	2 地域環境への配慮		2.5	0.33	2.5
	2.1 地域インフラの負荷抑制	-	2.0	0.50	
	2.2 既存の自然環境の保全	-	3.0	0.50	
	3 周辺環境への配慮		2.0	0.33	2.0
	3.1 騒音・振動・排気・排熱の低減	-	1.0	0.50	
	3.2 周辺温熱環境の改善	-	3.0	0.50	